

# 国際化×販路拡大 先進的なエノキ

有限会社宇和島食菌 代表取締役 酒井正則



企業理念

安全でおいしいと感じていただける商品をお客様にお届けすること

事業内容

きのこ生産、堆肥生産等

設立

平成2年

従業員

日本人、フィリピン人、ブータン人と国際色豊か

## 三間町の国際色豊かなエノキの世界

酒井氏は、大学卒業後、家業の有限会社宇和島食菌に就職。「外国人材の活用」や「JICA（独立行政法人国際協力機構）との連携」など、新たに国際的な取り組みを進めてきた。地域関係者から難色を示されることもあったようだが、酒井氏から丁寧な説明を行い、彼らの勤勉な姿が理解されたことで良好な関係を構築。母国へ帰国した者との繋がりも続き、農業技術指導以外に日本語指導などを担ってもらっているとのこと。



宇和島食菌の打合せスペース

## 経営における「出口戦略」の重要性

過去、エノキ生産者は国際情勢のあおりを受けて大幅な暴落を経験した。酒井氏は、このままエノキ産業界を続けていくことが可能か悩む中、収益性の高い販路を開拓する「出口戦略」の重要性を再認識。従業員と協力して一から営業を始め、全国へ三間町のエノキを売り込んできた。農業は、生産する技術力に加えて、販路確立しなければならない難しい産業。その難しさを乗り越えたときに農業の面白さを感じるとのこと。



生育されるエノキの菌床

## これから新規就農を目指す方へ

農業は、技術力、マネジメント力、販路開拓の営業力など一から農業を始める者にとっては大変難しいものです。すぐに個人経営をするのではなく、例えば、法人化した優良農業者などのもとで雇用され、少しずつ経営移譲して自立するという方法もあると思います。課題に直面することも多い産業ですが、可能性のある分野ですので雇用就農を含めて検討してみてください。



宇和島食菌が販売するエノキ